

取扱説明書

ポット土入れ機

STK-35P



当製品を安全に、また正しくお使いいただくために必ず
本取扱説明書をお読みください。誤った使いかたをする
と、事故を引き起こすおそれがあります。
お読みになった後も必ず製品に近接して保存してください。

ポット土入れ機STK-35Pを お買い上げいただき、ありがとうございます。

はじめに

- この取扱説明書はポット土入れ機STK-35Pの取扱方法と使用上の注意事項について記載してあります。ご使用前には必ず、この取扱説明書を熟知するまでお読みのうえ、正しくお取り扱いいただき、最良の状態でご使用ください。
- お読みになったあとも必ず製品に近接して保存してください。
- 製品を貸与または譲渡される場合は、この取扱説明書を製品に添付してお渡してください。
- この取扱説明書を紛失または損傷された場合、速やかに当社にご注文ください。
- なお、品質・性能向上あるいは安全上、使用部品の変更を行うことがあります。その際には、本書の内容および写真・イラストなどの一部が、本製品と一致しない場合がありますので、ご了承ください。
- ご不明なことやお気付のことがございましたら、お買い上げいただきましたお店、またはお近くの特約店・販売店・農協にご相談ください。
-  印付きの下記マークは、安全上、特に重要な項目ですので、必ずお守りください。



警告

その警告文に従わなかった場合、死亡または重傷を負う危険性があるものを示します。



注意

その警告文に従わなかった場合、ケガを負うおそれのあるものを示します。

- この取扱説明書には安全に作業していただくために、安全上のポイント「安全に作業をするために」を記載してあります。使用前に必ずお読みください。

目 次

1. 安全に作業をするために.....	3 ~ 6
2. 安全銘板の貼り付け位置.....	7
3. 本製品の使用目的について.....	7
4. 各部の名称.....	8
5. 仕 様.....	8
6. 組立要領.....	9 ~ 10
7. 運転及び操作.....	11 ~ 15
8. 点検整備及び保管上の注意.....	15
9. パーツリスト.....	16 ~ 23

1.安全に作業をするために

ここに記載されている注意項目を守らないと、
死亡を含む傷害や事故、機械の破損が生じるおそれがあります。

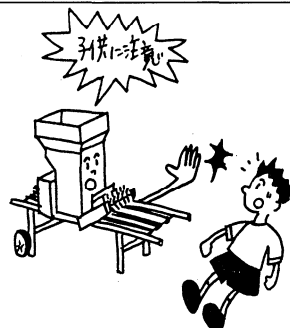
▲ 警告

子供を近づけない

子供には充分注意し、近づけないようにしてください。

【守らないと】

傷害事故を引き起こすおそれがあります。



▲ 警告

電気部品・コードを必ず点検

配線コードが他の部品に接触していないか、被覆のはがれや接触部のゆるみがないかを毎日作業前に点検してください。

【守らないと】

ショートして、火災事故をおこすおそれがあります。

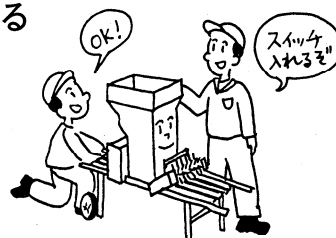


▲ 警告

2人以上で作業するときは、 お互いに合図しながら機械を始動する

【守らないと】

思わぬ事故になることがあります。



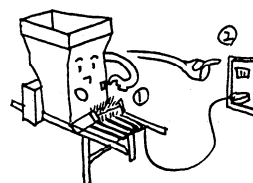
▲ 警告

点検・整備時には必ず電源を「OFF」 にし、差込みプラグを抜く

点検・整備は、必ず電源を「OFF」にし、差込みプラグを抜いてから行ってください。

【守らないと】

思わぬ事故をおこします。



▲ 注意**使用前に取扱説明書を必ず読む**

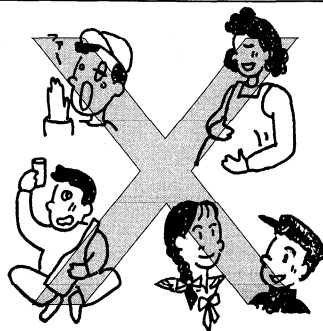
使用前に取扱説明書をよく読んで安全で正しい作業をしてください。

【守らないと】

傷害事故や機械の破損をひきおこします。

**▲ 注意****こんなときは作業しない**

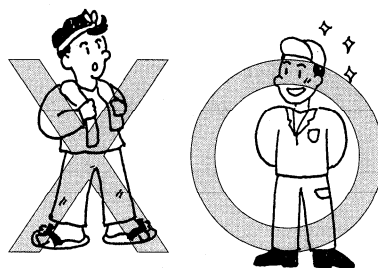
- 過労・病気・薬物の影響、その他の理由により作業に集中できないとき。
- 酒を飲んだとき。
- 妊娠しているとき。
- 18才未満の人。

**▲ 注意****作業に適した服装をする**

はち巻き・首巻き・腰タオルは禁止です。
作業に適した、だぶつきの無い服装をしてください。

【守らないと】

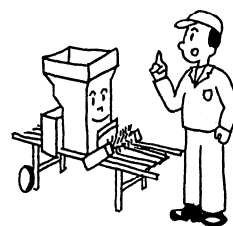
機械に巻き込まれたりするおそれがあります。

**▲ 注意****点検・整備をおこなう**

機械を使う前と後には必ず点検・整備をしてください。

【守らないと】

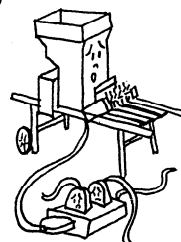
事故・ケガ、機械の故障をまねくおそれがあります。

**▲ 注意****電源は交流100V専用コンセントに接続する**

また、タコ足配線はおやめください。

【守らないと】

火災事故の原因となります。

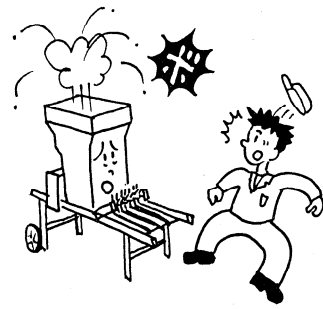


▲ 注意

作業中、停電した場合は、必ず電源スイッチをきる

【守らないと】

通電時、急にまわりだし、思わぬ傷害事故を起こします。

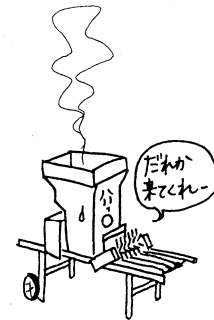


▲ 注意

作業を中断・終了した場合は、必ず電源スイッチを切る

【守らないと】

ショートして、火災の原因になることがあります。



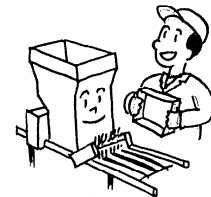
▲ 注意

カバー類は必ず取り付ける

点検・整備などで取り外したカバー類は、必ず取り付けてください。

【守らないと】

機械に巻き込まれて、傷害事故を引き起こすおそれがあります。



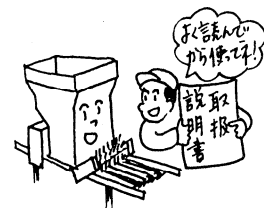
▲ 注意

機械を他人に貸すときは取扱方法を説明する

取扱方法をよく説明し、使用前に「取扱説明書」を必ず読むように指導してください。

【守らないと】

傷害事故や、機械の破損をまねくおそれがあります。



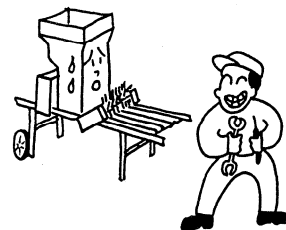
▲ 注意

機械の改造禁止

純正部品や指定以外のアタッチメントを取り付けしないでください。
改造をしないでください。

【守らないと】

事故・ケガ、機械の故障をまねくおそれがあります。



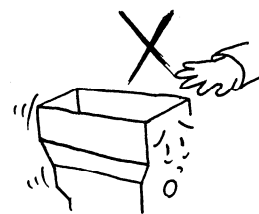
▲ 注意

作業中のホッパーには手を入れない

土入れ作業中ホッパー内のかくはん棒が
回転していますので手を入れないで下さい。

【守らないと】

かくはん棒に巻き込まれ
ケガをするおそれがあります。



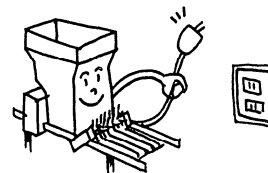
▲ 注意

後始末を忘れずに

長時間使用しないときは、差込みプラグをコンセントから
抜いてください。

【守らないと】

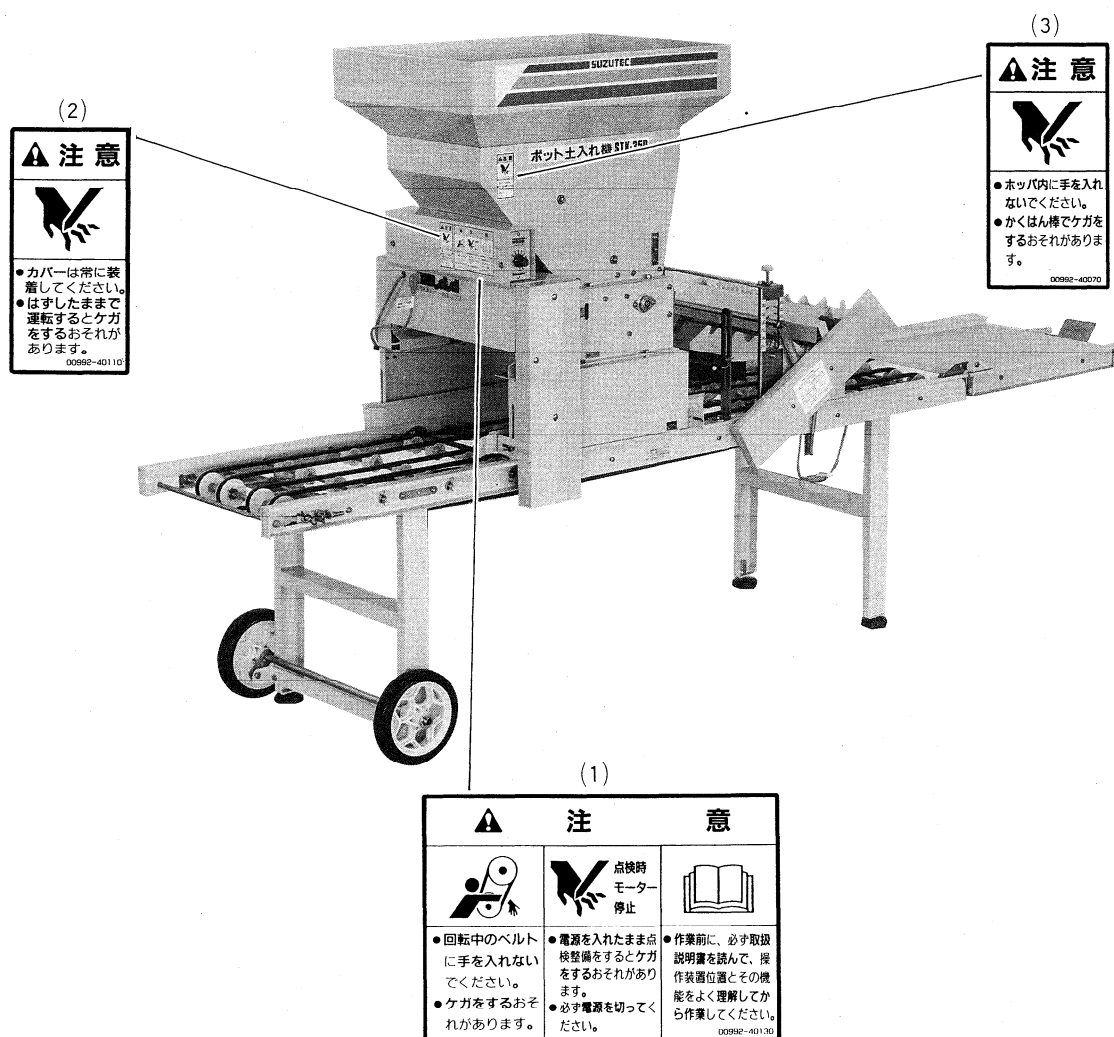
火災事故や感電事故のおそれがあります。



2.安全銘板の貼り付け位置

安全に作業していただくために安全銘板の貼り付け位置を示したものです。

安全銘板は常に汚れや破損のないように保ち、もし破損・紛失した場合は、新しいものに貼り直してください。



紛失または破損された場合には、当社に下記の表を参考にご注文ください。

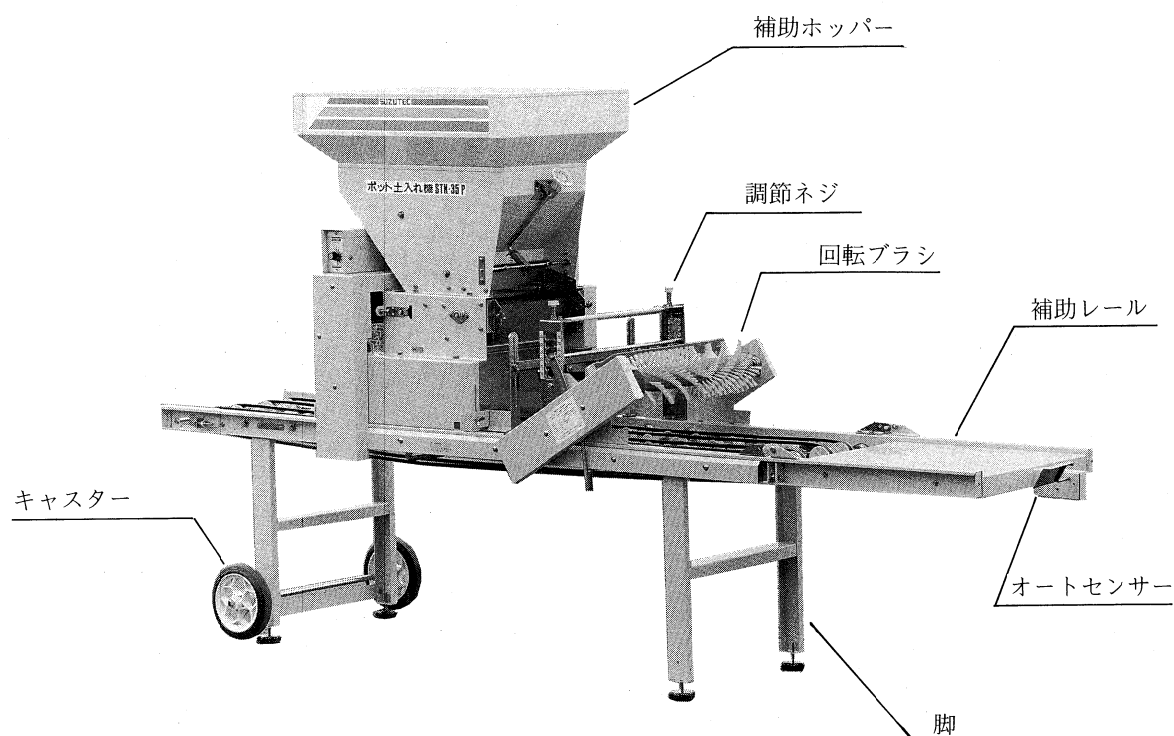
No	部 品 番 号	部 品 名 称
(1)	00992-40130	注意ラベル CL-10
(2)	00992-40110	注意ラベル CL-8
(3)	00992-40020	注意ラベル CL-5

3.本製品の使用目的について

本製品は、ポット・化粧鉢・セルトレイへの土入れ作業機としてご使用ください。

使用目的以外の作業や改造などは、決してしないでください。

4. 各部の名称



5. 仕様

型 式		STK-35P
機体寸法	全 長	2670mm (格納時 2050mm)
	全 幅	646mm
	全 高	1425mm
重 量		84kg
動 力		40W/100V スピコンモーター 2 台
ホ ッ パ ー 容 量		82L
土 入 れ 調 節		スピコンモーター及びシャッターの開閉
土 入 れ 量		50～90mm/ポット
土 均 し 方 式		回転ブラシ式 (20ミリ～160ミリ迄調節可)
能 力		170～300箱/時 (無段階調節)

☆能力は、土の供給量、及び、搬送トレー、又は育苗箱のサイズによって異なります。

☆本機は、別売の仕切板、及び、カゴトレー、ポットイングトレー (PTトレー)、水稻用育苗箱が必要です。

(仕切板及び仕切蓋は用途に合わせて製作いたします。)

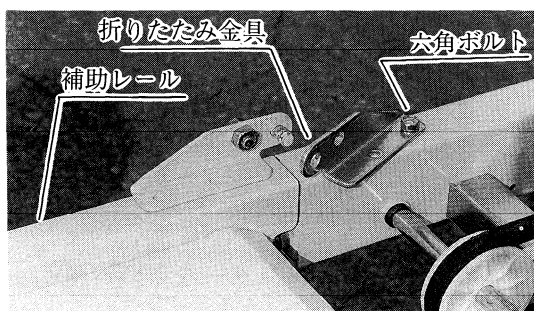
6. 組立要領

6・1 脚の組立

本機に折りたたまれている脚を立て、六角ボルト（M6×12）にてしっかりと固定して下さい。

6・2 補助レールの組立

- 補助レールを連結し、折りたたみ金具を六角ボルトにてしっかりと固定して下さい。
- 補助レールは、本体レールと水平になるよう調節して下さい。

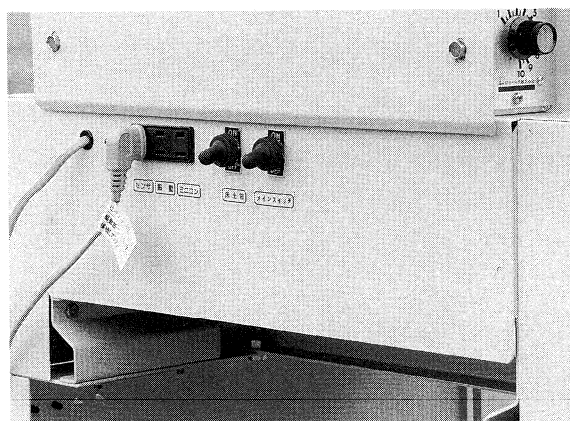
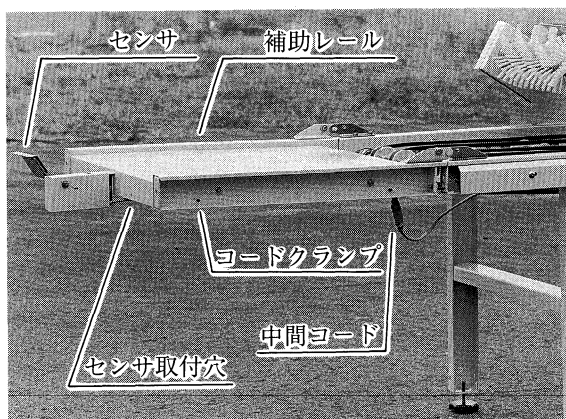


6・3 センサの組立及び、センサコードの接続

- 補助レールの先端中央又は、左側にセンサを組付けます（作業によりセンサの位置を変更可）。

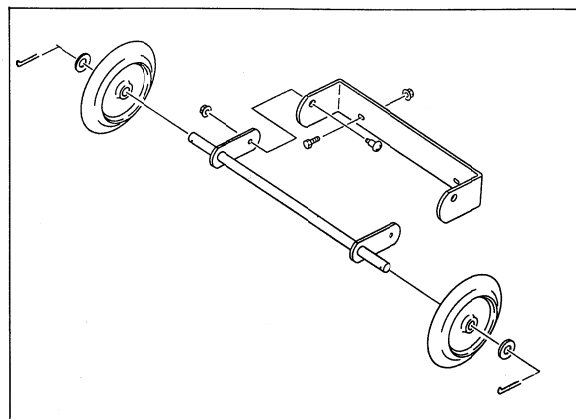
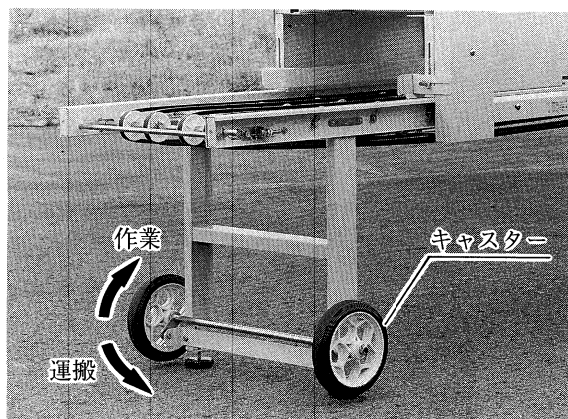
センサは、育苗箱、カゴトレイなど引掛からないようにバネ平座金組込六角ボルトにて固定して下さい。

- センサから出ているコードプラグを、駆動部コンセントより出ている中間コードと接続して下さい。
- 中間コードのプラグが駆動部コンセントの「センサ」の位置に差し込んであるか確認して下さい。
- 補助レールにはコードクランプにてセンサコードを保持して下さい。



6・4 キャスターの組立

- キャスターのフレームを脚へ六角ボルト（M6×12）と座金付ナットにて取付けます。
（高さ調節ボルトは、そのまゝの状態でご組付けます。）



- ☆運搬時はキャスターを下側へ倒します。
- ☆作業時はキャスターを上側へ倒します。

7. 運転及び操作

7・1 運転前の準備

(1) 本機の設置

平らな場所を選び全体が水平になるよう、脚の高さ調節ボルトにて調節して下さい。

(2) 水稻用育苗箱

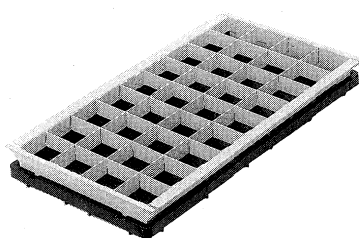
育苗箱を利用する場合は、同じ種類の物で「ソリ」「ネジレ」のない箱をお使い下さい。
(箱の高さを合わせて下さい。)

☆仕切板A (φ75-4×9) は、必ず箱の中へ入ることを確認して下さい。

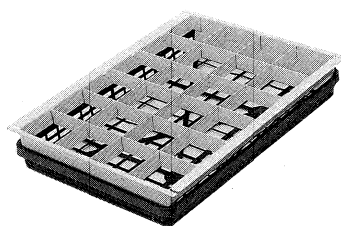
(3) カゴトレ、ポットングトレについて

- カゴトレの種類は沢山あり、仕切板のサイズと合うことを確認して下さい。同じ様な形状でも仕切板が入るものと、入らないものがありますので注意して下さい。
- ポットングトレ (PTトレ) を利用すると、仕切板は不要となります。(見本品をお試し下さい。)

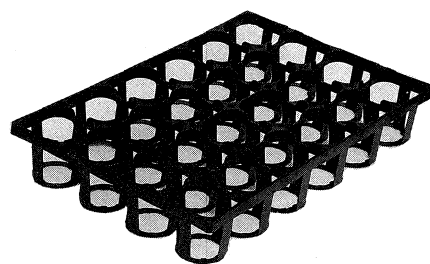
作業性が非常に良くなり能率が向上します。但し、ポリポットのサイズが大きいと内側に「シワ」が出る場合がありますので、その時には、PTポットを御利用下さい。



仕切板 A φ75-4×9



仕切板 B φ90-4×6



PTトレ (2.5寸)(3寸)(3.5寸)

(4) ポリポットのサイズについて (丸型)

軟質ポリポットのサイズは、標準的寸法のものに合わせて作られています。深鉢など特別なものは利用できません。

実際に仕切板と組合せてご確認下さい。

(5) セルトレ (プラグトレ) について

セルトレ (プラグトレ) の土入れは、トレの種類によりそのまま使用出来るもの、水稻育苗箱に入れて使用するもの、別途アンダートレが必要なものとがあります。

(必要に応じ、アンダートレも受注生産いたします。)

(6) 化粧鉢について

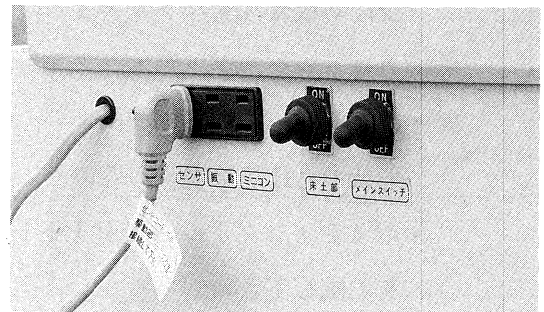
化粧鉢は、カゴトレ、穴トレに入れ仕切蓋をかぶせて使います。土の量は、70~100%の範囲で入れることができます。トレ、鉢、仕切蓋迄の全体高さで160ミリ迄使用可

能です。

- (7) 床土は、シャッターの開口寸法より大きい土塊、石、木片などが混入しないように砕土機を通し、フルイ選別をして下さい。
- (8) 水分の多い床土は、ブリッジ（土がホッパーから出てこない事）の原因となりますので、ご注意下さい。

7・2 電 源

- (1) 各スイッチを OFF にして、駆動部から出ているコードプラグを单相100Vの電源に差込んで下さい。
- (2) 振動コンベアー又は、延長コンベアーを利用する場合は、電源をポット土入れ機 **振 動** の所へ、差込んで下さい。オートセンサーで連動します。
- (3) ミニコンを利用する場合は、 **ミニコン** の所へ電源を差込んで下さい。
(オートセンサーとは連動しません。)



- (4) 床土部及びミニコン・振動のスイッチは、メインスイッチを入れないと作動しません。各部のスイッチを「ON」にして、動きを確認して下さい。

7・3 搬送速度の調節

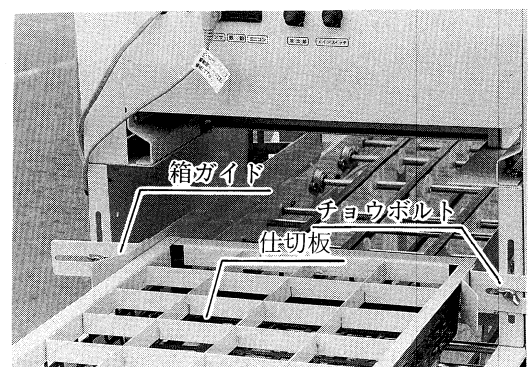
駆動部の上にある「速度制御」のつまみを回わして行ないます。目盛は、1～10（遅い→早い）まであります。

床土供給量との関係及び作業状態から適当な速度に合わせて下さい。

7・4 箱ガイドの調節

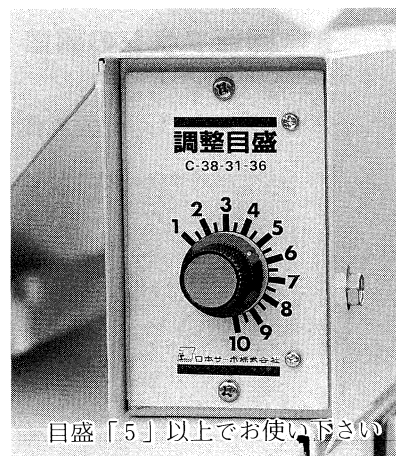
箱ガイドは、カゴトレイに仕切板を乗せてコンベアー中央にのせます。

仕切板の巾より3～5ミリ広くなるよう、ガイドを上、下にずらして蝶ボルトで固定して下さい。（4ヶ所）

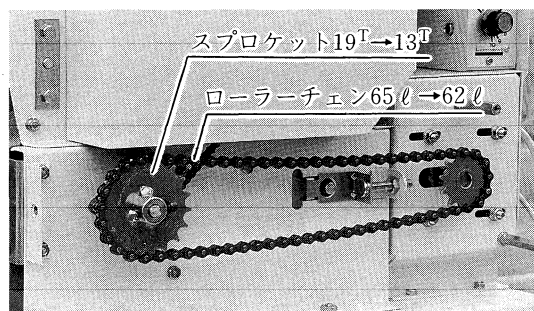


7・5 床土の供給と床土量の調節

- (1) 床土の供給は、床土部スイッチを「ON」にします。
- (2) 床土量の調節は、
 - ①ホッパー正面についている調節ハンドルを右に回せば多くなり、左に回せば少なくなります（シャッターの開閉）。
 - ②床土部の「速度制御」ダイヤルを回わして行ないます。目盛は「5」以上でお使い下さい。



- (3) 床土量の供給が不足する場合は、スプロケット及びチェーンを文換することにより、約50%供給量を増加することができます。
☆ダイヤルの目盛「5」以上でご使用下さい。



▲ 注意

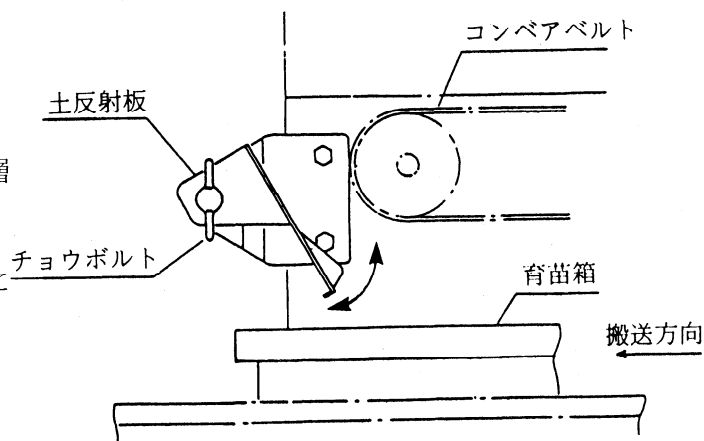
・カバーは、必ず取付けて下さい。機械に巻き込まれ事故を引き起こすおそれがあります。

7・6 土反射板の調節

ポットの底部に粗い土、表面に細かい土の層ができる様に、土反射板が設けてあります。

必要に応じて、繰り出された土が反射板にあたるよう調節して下さい。

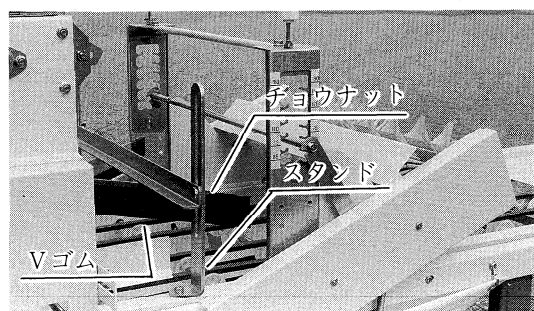
不要のときは、取外して下さい。



7・7 Vゴムの調節

Vゴムは、ポリポット上端より3～5ミリ前後、上に合わせて下さい。

ポリポットがVゴムで変形しないよう、注意して下さい。

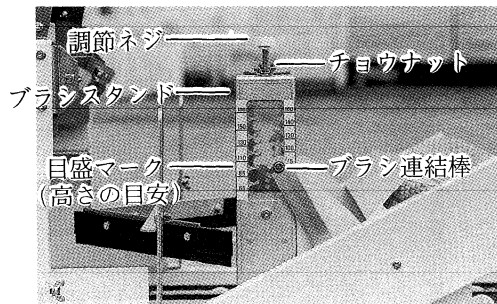


7・8 回転ブラシの調節

回転ブラシは、土入れ作業により20ミリから160ミリ迄、上・下・調節可能です。

- ・目盛りマークの数値は、太い線とブラシ連結棒の中心が合った所を目安として表示しています。
- ・ブラシスタンドの目盛りマークを参考に、ブラシ連結棒をカキトリ調節板のフックに引掛けます。
- ・微調節は、調節ネジで行ないます。

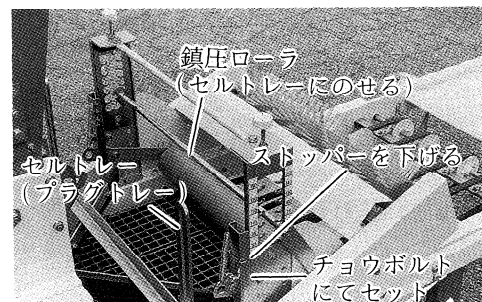
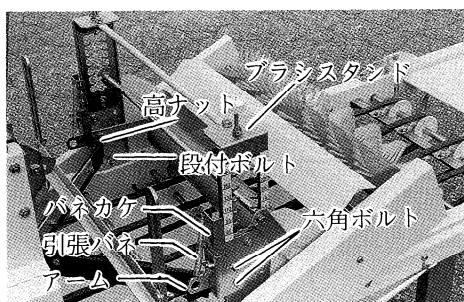
調節ネジ1回転で回転ブラシが2ミリ上、下、します。



7・9 鎮圧ローラーの使い方（オプション部品）

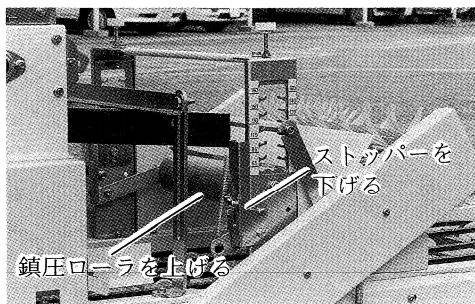
鎮圧ローラーは、セルトレイ（プラグトレイ）に土を入れるとき使います。土質によりセルトレイに入りにくい場合、又は、土を通常より多く充填したいときに使います。

- (1) 部品の組立ては、パーツリストを参考にして下さい。
- (2) 鎮圧ローラーは、セルトレイの上に乗せた状態でストッパーをセットします。
- (3) 鎮圧の強、弱はバネの掛け換えで調節します。
- (4) 土は、セルトレイ（プラグトレイ）に押し込みますので5～15ミリ位多く出して下さい。

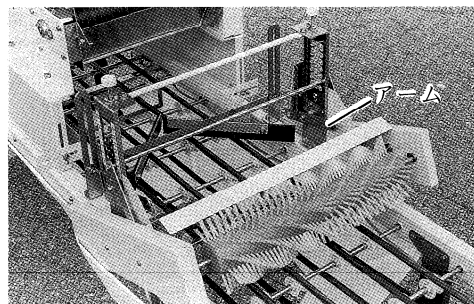


☆鎮圧ローラーを使用しないとき

鎮圧ローラーは、60ミリ迄上げることができます。60ミリより高いものを流す場合は、ローラーを取外して下さい。(大切に保管して下さい。)



鎮圧ローラーを上げる



Rピンを抜き鎮圧ローラーを取外します

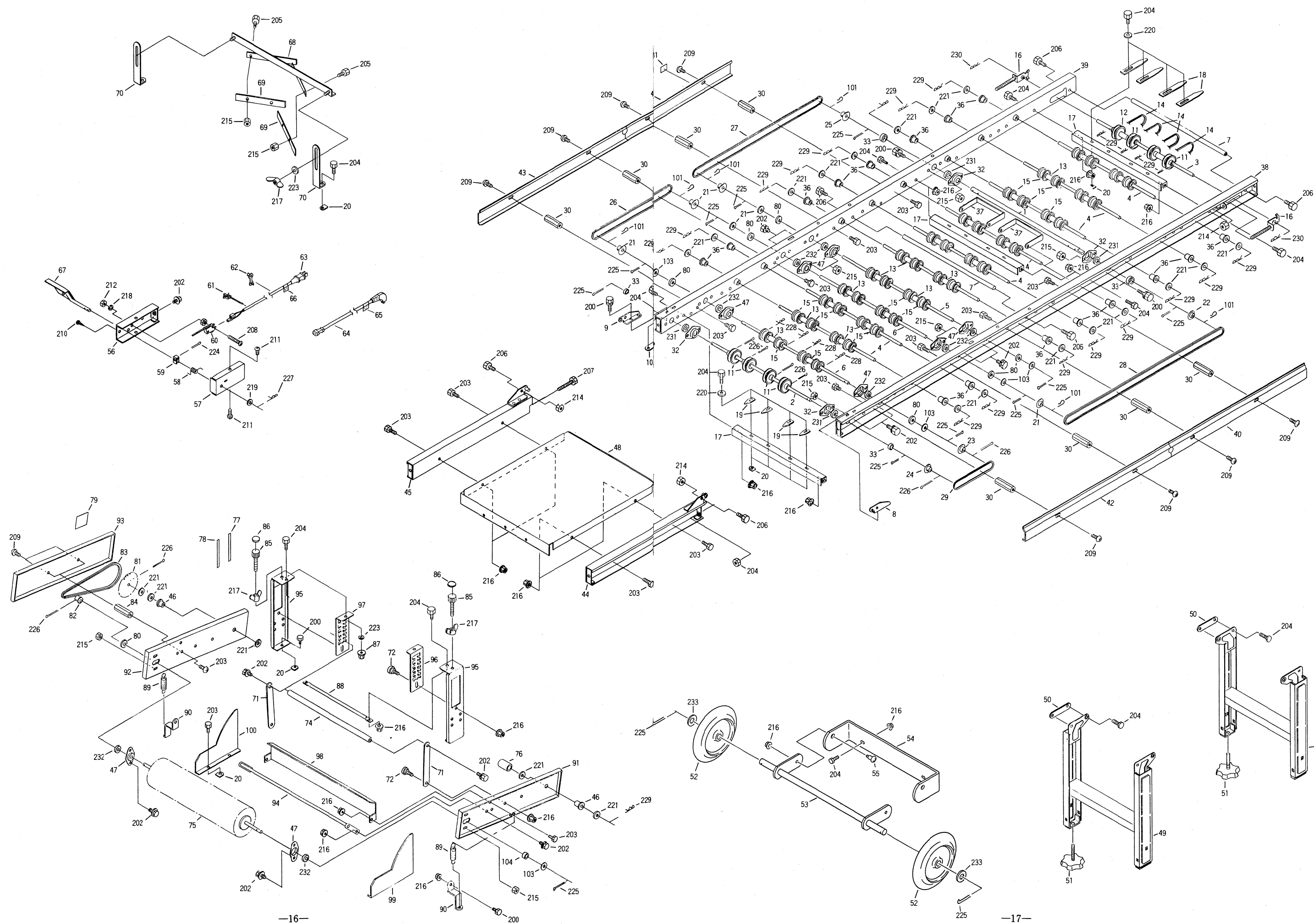
8. 点検・整備及び保管上の注意

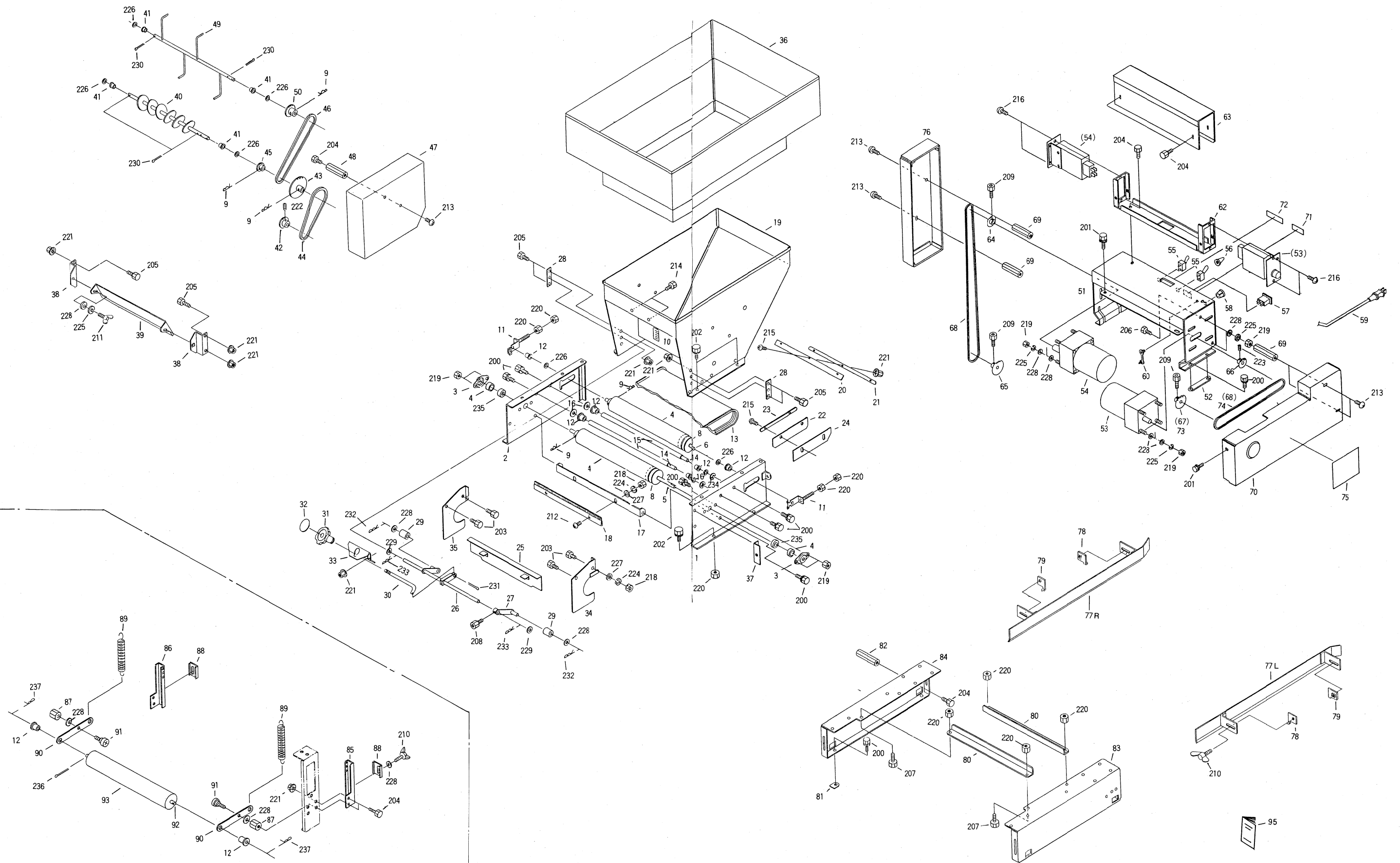
- (1) 作業終了後洗浄する場合は、電源コードをコンセントから外し、モーター、スイッチ、コンセント及び速度制御部へ水を掛けしないで下さい。
- (2) 良く乾かした後、チェーン、スプロケット、コンベアーの各軸受部へ必ず給油してから保管して下さい。
- (3) 本機の格納は、ゴム、プラスチック、Vベルト等を使用していますので、直射日光をさけて、風通しの良い所へ保管して下さい。

実り豊かな明日をひらく

株式会社 スズテック

〒321 宇都宮市平出工業団地 4 4 - 3
代 表 / TEL.028(664)1111 FAX.028(662)5592





鎮圧ローラー（オプション部品）

